



# カノン・コード

乳がん手術後の女性たちを救う「乳房再建術」。大手下着メーカーと大学病院との共同研究がきっかけで乳房再建後でも安心して着用ができるセミオーダー下着を提案するカノン・コード。美しい下着を着ける喜びは人生に向き合う糧となる。



### 会社概要

所在地：岡山県岡山市南区豊成 3-1-10  
業種：婦人下着小売業  
創業：2014年6月  
従業員数：1名



**STEP 1 創業のきっかけ**  
大手下着メーカーへの転職  
そして思いもよらない研究への参加

女性の12人にひとりの割合で罹患するともいわれる乳がん。早期発見によつて高い確率で完治が見込まれるが、外科的手術が基本的な治療法となる。乳がんの手術には、両胸筋を残して乳房を切除する「乳房全摘術」と、乳頭や乳輪を残してがん細胞を切除する「乳房温存術」があり、がんというシロツキングな宣告もさることながら、女性の象徴とも言える膨らみを失うことへの精神的苦痛が大きいのも特徴のひとつである。

岡いずみさんは10年間エステティックサロンでキャリアを重ね、店長・エリアマネージャーとして働いていた。次の職を模索していた頃に出会ったのがワコールのセミオーダーブランド「デューブルベ」だった。「一般のブラジャーは84サイズしかないのに比べてオーダーなら3030サイズ、その奥深さに惹かれて」と転職を決め、そして半年後、店長となった矢先に始まったのが同社と岡山大学病院との共同研究「乳房再建後の患者にオーダー下着は有用か」の検証だ。乳房再建とは、乳がん摘出手術を受けた女性患者が元のような乳房を取り戻すための形成術で、「普通の生活に戻るために乳房再

建をしたのに、一生可愛い下着すら着けることができないのか」という患者の思いを聞いた看護師らの発案によつてスタートした研究でもあった。

「当時は、乳房再建って何？というくらい知識がありませんでした。でも、ずっと女性相手に美の仕事をしてきて、いろいろな経験をさせてもらった恩返しをするときかなと思って」と、岡さんは院内に設置されたカウンセリಂಗールームにひとり常駐することに。訪れる患者の方々に対して丁寧なサポートを行い、形・デザインともに上質なオーダー下着を提案した。通常の着用であれば不具合が生じる問題点もオーダー下着なら解決できた。また「乳がん手術後専用の下着」というカテゴリーに縛られる必要はないことは患者にとつて大きな喜びだった。

本格的な研究スタートから3年が過ぎた2013年末。「乳房再建後のオーダー下着は有用である」と学会で発表され、研究の終了とともに院内カウンセリಂಗールームの閉鎖が決定した。「これから相談する場所がなくなってしまう！」と困ったのは岡さんや患者だけではない。誰よりも存続を望んだのは病院の医師や看護師たちであった。そんな要望と使命感から「このまま下着カウンセリングを続けるためには独立しか道はない」と、岡さんが決断するのに時間はかからなかった。

### STEP 2 事業スタート

誰からも愛される旋律のように「カノン・コード」に想いを込めて



1cm刻みで計測し、あらゆるサイズに対応可能。

大学病院との医療連携で術後の生活をサポートする。



新作も随時登場するなど幅広いデザインから選べる。




乳房下の周径を正確に測るための「バージスメジャー」。

**Point of note**

■ 乳房再建術とは

乳がんを摘出する際に失った乳房を再び形成する手術のこと。体の別の部位から脂肪や筋肉を移植する「皮弁法」、人工的に乳房をつくる「シリコン・インプラント法」などがあり、保険適用が拡大されている。「乳がんの手術で乳房を失う」という絶望感から女性を救う希望のひとつであり、患者のQOL（生活の質）の向上にも役立っている。



乳房再建後の専門下着には女性が満足するものが少なく、また「普通の可愛い下着を身に着けたい」という想いを持っている患者も多い。


## 「乳がん手術を乗り越えて、前向きに生きるための乳房再建術。好きな下着を着ける自由が得られることで女性は輝けます」

独立後、これまでのように院内に常駐できないため、事務所を構え、大学病院のバックアップもあり、個人でありながらワコールとの販売契約を結ぶことができた。また下着メーカーとの差別化として、医療連携をして乳房再建後の下着の提案を専門的に行う「プレストカウンセラー」を創設し、商標登録も進めた。既に人脈づくりができていたことで安心してきいていたが、思いのほか電話は鳴らず、戸惑った患者の方が会社員時代のアドレスに連絡していたこともあった。

「時間があつたおかげで融資相談会に行ったり、より精緻な事業計画を練ることができた」

現在は、病院での実績や患者同士の紹介などにより県内外5つの病院と連携を取るまでに事業は成長している。岡さん曰く、健全な女性がサイズ違いのブラジャーを着けても脱げば乳房は元の形に戻るが、再建後の乳房は粘土のような状態のため、形が変わったり創部に当たって痛いなどの苦痛を伴う。そういった患者に対する術後のケアとして、医師が岡さんの名刺を渡すことも多い。

**Profile**



カノン・コード 代表 岡いずみさん

下着メーカーの社員として大学病院との共同研究に参加したことがきっかけで、乳がん患者向けのオーダー下着を取り扱う事業を開業。プレストカウンセラーとして活動している。

### STEP 3 今後の展望

下着の知識と身体構造を熟知したプレストカウンセラーを全国へ

岡さんがこれほどまでに医師や患者から信頼されるのには理由があった。実は、エステティシャンとして脂肪や筋肉について学んでいた岡さんは、広背筋を使用する再建手術の把握はもちろん、再建後の乳房を触るだけで状態を判断することができたのだ。特例として再建手術を見学させてもらったこともあるほどで、「これまでの経験、転職のタイミング……すべて今の仕事をやるためだったのかもしれない」と岡さんは笑う。

プレストカウンセラーは下着の知識や計測の技術だけでできるものではない。今後は育成にも力を入れ、乳がんの女性に笑顔を与えるプレストカウンセラーを全国に普及させるが目標だという。